

題名 原爆ドームと継承した思い

鹿沼市立西中学校 (氏名) 牛込 陽真



平和記念資料館で最も印象に残ったのは、全身にやけどを負って亡くなった少年の写真です。その写真を見た時、あまりの悲惨さに胸が苦しくなり直視することができませんでした。兵士や市民に関係なく多くの尊い命を奪う原爆の恐ろしさを実感しました。

被爆者の方の話では、原爆ドームは当初は辛い記憶を呼び起こすものとして取り壊しも考えられていたそうです。しかし、ある女子高校生の日記「原爆ドームだけが恐るべき原爆を後世に訴えてくれる」という言葉で保存運動が広まったことを知りました。破壊された姿のまま残る原爆ドームを見て、核兵器の残酷さと破壊的な力を実感するとともに、平和は1人ではなく、みんなで作り上げるものだ学びました。

被爆者の言葉を直接聞ける最後の世代として、唯一の被爆国である日本の平和への強い思いを受け継ぎ、多くの仲間に加え、次の世代へ継承していきたいと思います。